

# 赤平市小・中学校 学力の状況のおしらせ

赤平市教育委員会  
令和3年10月

## 【これまでの学力検査等の結果を振り返って】

ここ数年間の学力検査の結果を振り返ると、学年が上がるにつれて全国平均との差が広がる傾向にあります。差が縮まる時期もありますが継続されていません。また、各学校で実施している家庭学習時間の集計結果によると、学年が上がるにつれて、学年に見合った家庭学習時間の確保が不十分であることが分かります。

全国との開きが大きい学力検査結果の改善のためには、毎日の家庭学習が必要です。赤平市では、(学年)×10分+10分の家庭学習の時間的な目安を示し、家庭での取組をお願いしています。

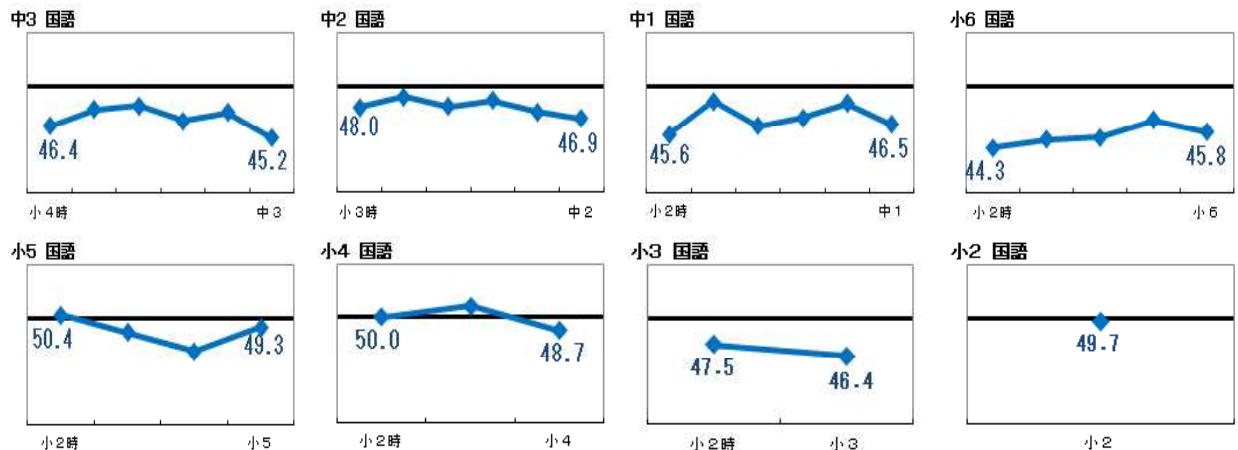
### ■ 家庭の協力に期待 家庭学習に毎日取り組む

(中3)100分 (中2)90分 (中1)80分 (小6)70分 (小5)60分  
(小4)50分 (小3)40分 (小2)30分 (小1)20分

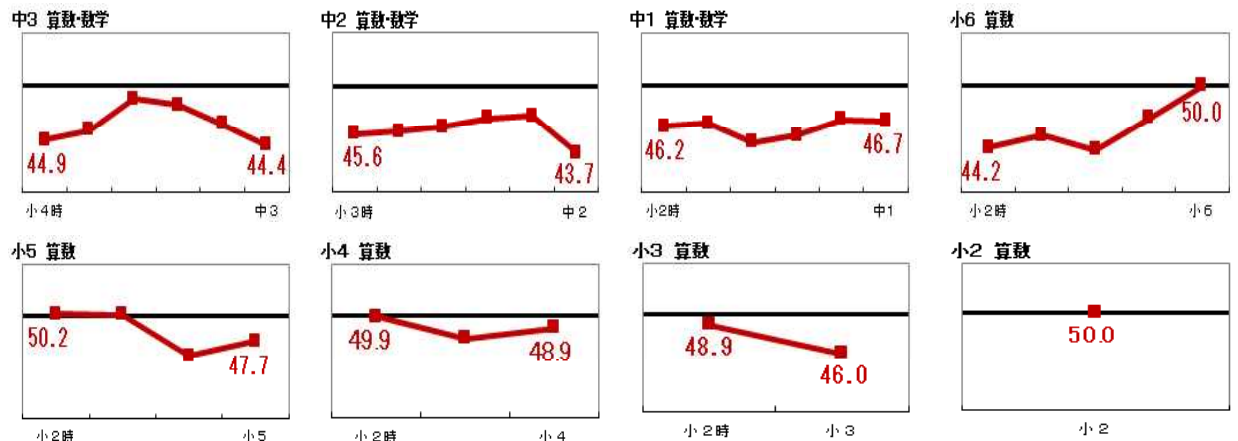
## 1 標準学力検査について

4月に実施した標準学力検査(NRT)の結果を教科別、学年別にお知らせします。この検査は、赤平市の教育施策として実施しています。下記のグラフは赤平市の小・中学生の結果ですが、全国平均(太線)の「50」と、どの程度の開きがあるかが分かります。同じ集団の記録を振り返り、その推移を掲載しました。

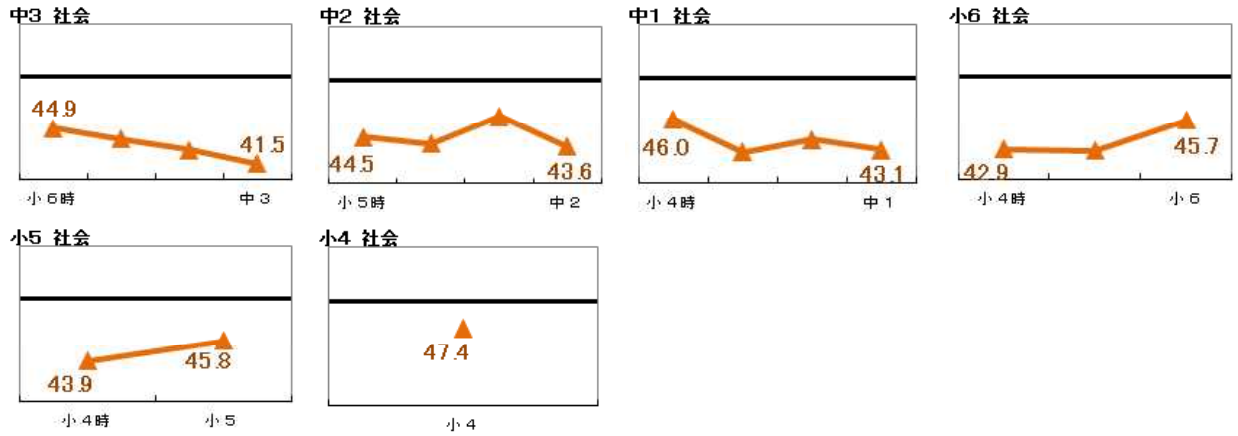
### 国語



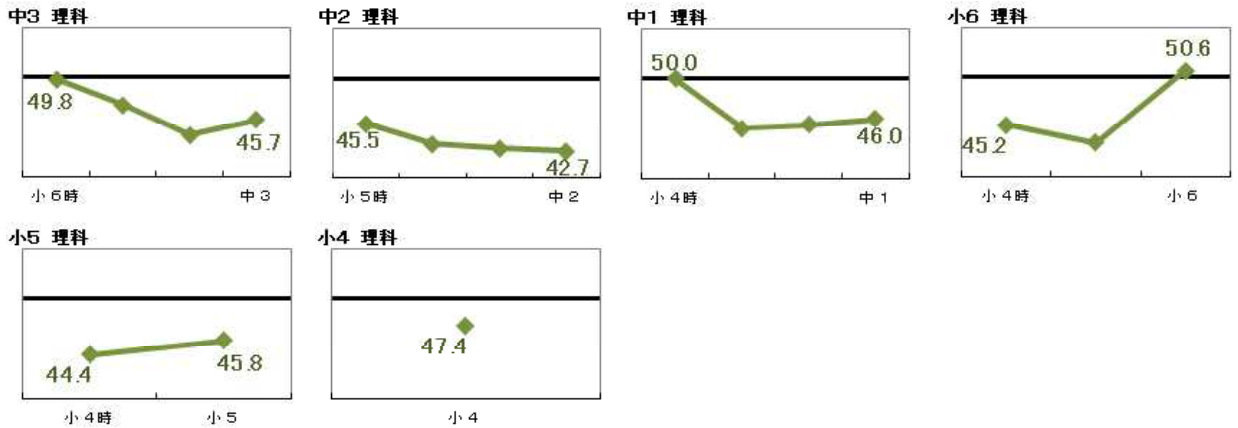
### 算数



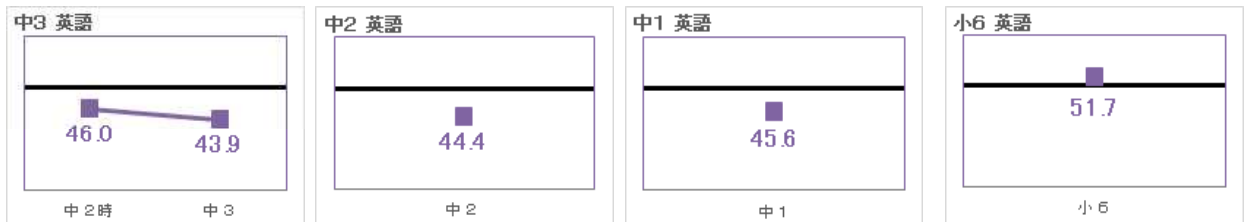
## 社会



## 理科



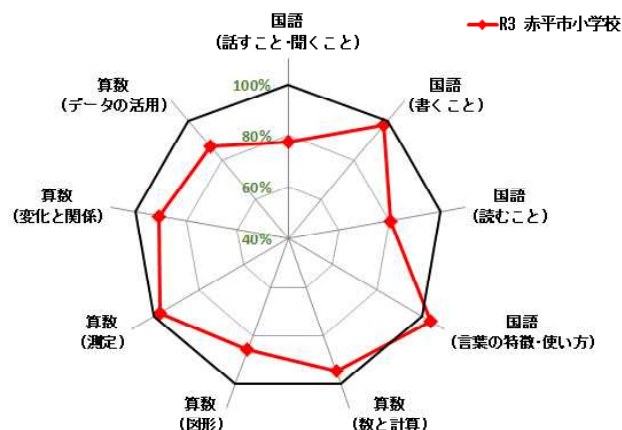
## 英語

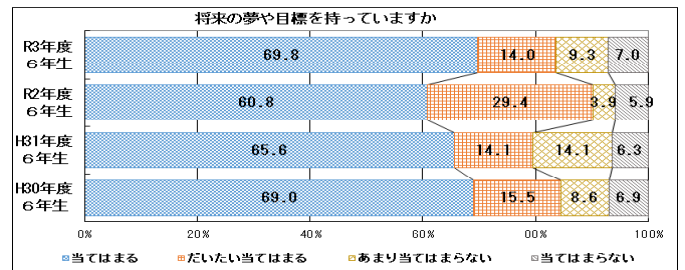
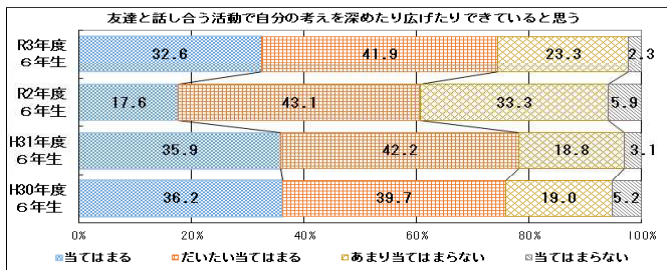
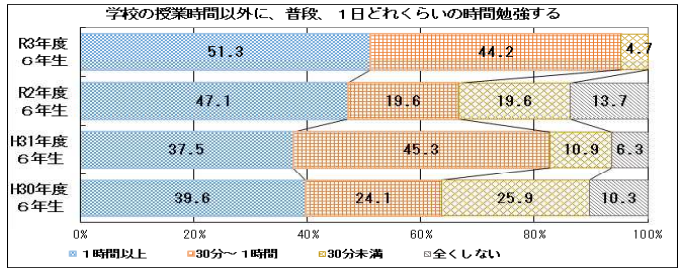
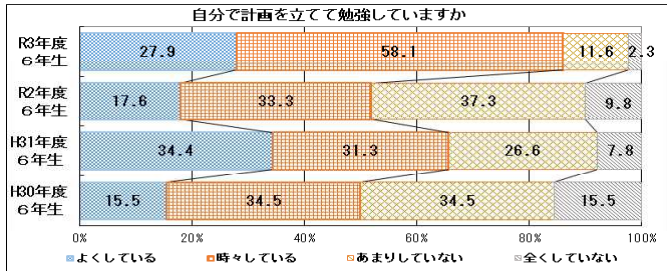
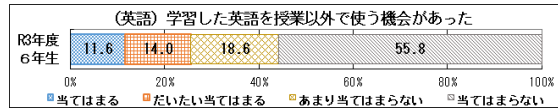
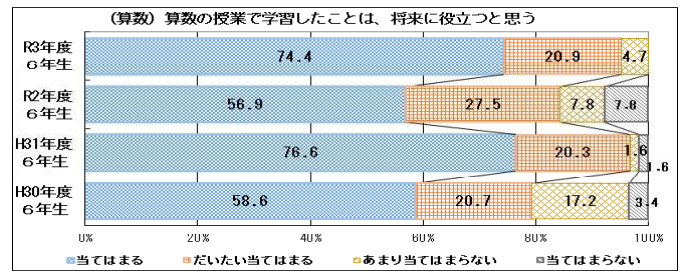
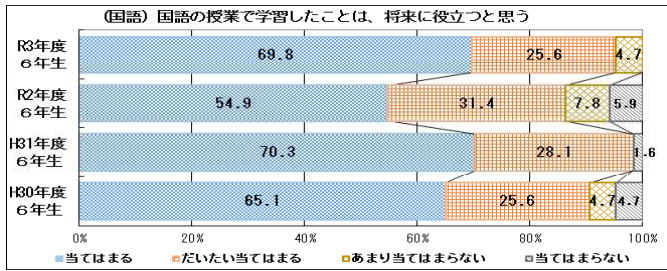


## 2 全国学力・学習状況調査について

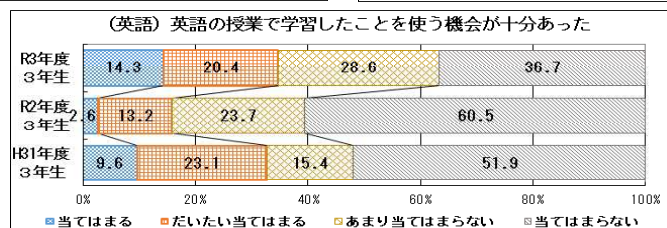
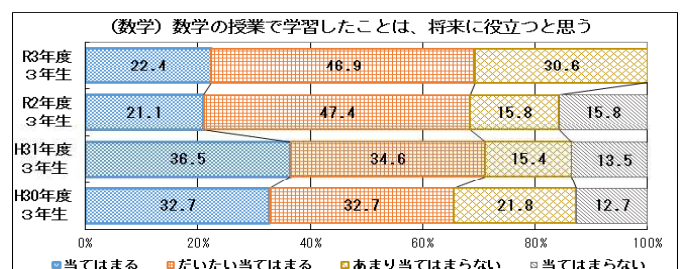
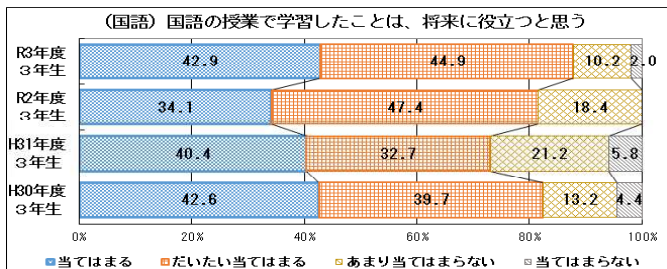
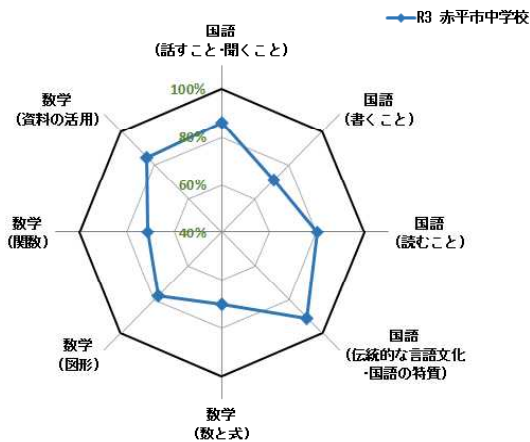
4月に実施した全国学力・学習状況調査の教科に関する調査結果と平成30年度から令和3年度までの児童生徒質問紙調査結果の概要をお知らせします。本年度の教科に関する調査は、小学校6年生で国語と算数を、中学校3年生で、国語と数学を実施しました。その結果から、全国平均を「100」とした場合の赤平市の正答率をレーダーチャートで掲載しました。また、帯グラフでは、児童・生徒質問紙調査から主なものを取り上げて、4年間の集計結果を掲載しました。

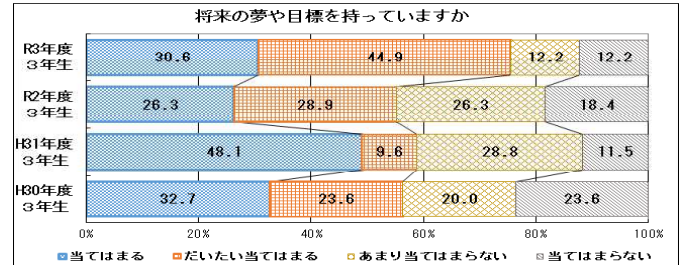
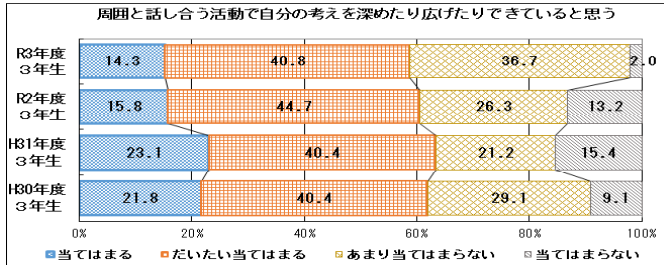
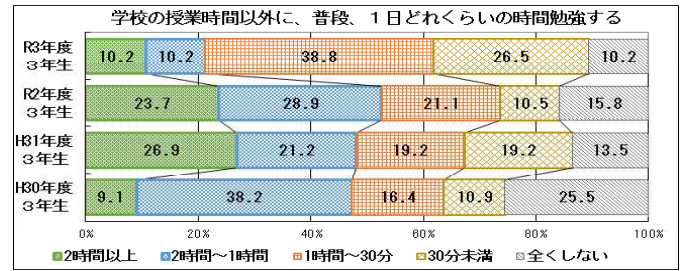
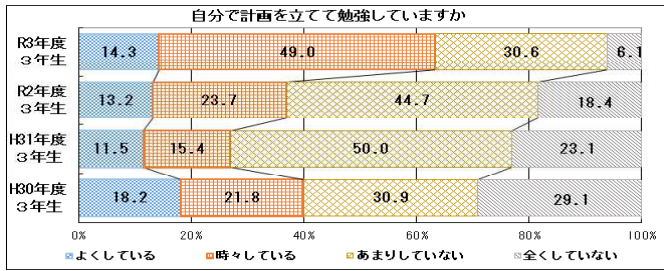
### 小学校





## 中学校





### 3 改善に向けた実践策等の主なもの

これまでの検査結果や日常の学習状況を踏まえて、各学校では自校の学力の状況を改善するため、具体的な取組を進めていますので、その主なものを掲載します。

#### 【授業改善の工夫について】

- 正答率が思わしくなかった検査問題について、子どもたち一人一人のレベルまで分析を行い、指導の改善に生かして、関連する学習内容の指導方法等を工夫している。
- 授業での指導の質を上げるため、学校全体で統一した授業スタイルを掲げ、子どもたちにとって学びやすい授業となるよう、全教員が協働して取り組んでいる。
- 授業中の約束事のある程度統一して、子どもたちにとっての学びやすい環境づくりに努めている。
- 授業を進める中で、「聞く」、「書く」、「話す」、「考える」の場面を明確にしたメリハリのある授業となるよう、指導の工夫に努めている。
- 学習内容の定着や活用が十分に進まない子どもの割合が、10%程度以下となるよう、具体的な手立てを工夫しながら、学校全体で授業改善に取り組んでいる。
- 授業を充実させるための重点ポイントを設定しながら授業を参観し合い、意見交流を通して学び合う場を積み重ね、授業の質の向上に努めている。

#### 【家庭学習の改善・充実に向けて】

- 「家庭学習チェックシート」を活用して、家庭学習時間や学習内容の実態把握を日常的に行い、うまく取り組めない子どもへの支援を行っている。
- 学校として意図的に設定した宿題に取り組ませながら、家庭学習に自ら取り組む意欲を高めるように指導している。
- 家庭学習を提出した子どもたちには、丸付け、スタンプ、コメント等により、学習意欲が向上するよう、働きかけを工夫している。
- 家庭と連携して、家庭学習の習慣の定着と時間の確保が進むよう、学校だよりや学級通信、懇談会等で意識啓発を図っている。
- 朝の学習時間を設定し、家庭学習と関連づけて学習内容が定着する指導を行っている。

### 4 教育委員会としての学力向上に係る支援策の主なもの

- 北海道教育委員会に義務教育指導班の指導主事派遣を要請し、よりよい授業づくりができるよう、指導力向上に向けた具体的な指導を行っています。
- 小学校では「漢字検定」の助成、中学校では、「英語検定」の助成を実施し、学習意欲の向上を支援しています。また、「公設塾」事業を通して、授業以外の学習機会の設定を進めています。